

人材会社であるパーソルテンプスタッフは、今年から新たにオンラインアウトソーシングサービス「Remote Tasker(リモートタスカー)」を展開しています。これにより地域における副業などの雇用創出のほか、女性活躍の機会を促進するといった、さまざまな地域課題を解決していきます。ここでは同社の古澤一樹氏に、テレワーク・副業・女性活躍をテーマとして、具体的な事例を交えて解説して頂きました。

point オンラインアウトソーシングサービスで、地元企業の業務外注や雇用創造を！

いま地方では少子高齢化や都市圏への人口流出により労働人口が減少し、地元企業も元気がなくなってしまいました。そうすると税収も減り、地方自治体の財務も悪化の一途を辿っていくでしょう。その結果として地域経済が減退する悪循環に陥る可能性があります。

Remote Taskerとは



こういった状況を打開するために、同社では自治体の業務外注や雇用創造を支援し、地域を活性化しようとしています。具体的には地元企業の業務を請け負うオンラインアウトソーシングサービス「Remote Tasker」を昨年4月より提供し、地方の労働力不足の解消のお手伝いをしています。地元にながら大都市圏の業務をテレワークで対応すれば、住民の人口流出の抑制にもつながります。

このRemote Taskerの仕組みは、同社が地元企業の仕事をお預かりし、テレワークスタッフに割り振って業務を遂行、その結果を同社でチェックして納品するという流れです。

すでに100社ほど導入実績があり、総務、営業、広告、マーケティング、経営、人事、電話などの事務作業、翻訳や議事録作成などの幅広い事務に対応。基本的にRemote Taskerは「地元企業が人を採用するのではなく、業務を外注する」という考えに基づき労働力不足を補うものです。また、地元の雇用創造につながるように、同社が地元スタッフを直接雇用することで、全国各地の企業の仕事をフルリモートでこなします。同社では、単にスタッフを雇用して終わりではなく、研修やeラーニング、スキルチェック、キャリア面談などによる人材育成を徹底し、最終的な就業を支援しています。

point Remote Taskerの実証実験や、ジョブシェアセンターの設立も！

取り組みの代表例を紹介します。一つ目は、地元企業の雇用創出のために、北秋田市と日本テレワーク協会と連携したRemote Tasker実証実験の例です。テレワークの経験がない地元の中小企業に対し、テレワークの理解を深めてもらい、北秋田市での就業希望者を選出。スキルレベルを把握して研修を行い、就業後も定期的にフォローアップを実施しました。

2つ目の事例は、同社が手掛ける「ジョブシェアセンター」の設立です。これは育児や介護などで働き方が限定される方々に向けて、都心に通勤することなく、家の近くで働ける施設です。フルタイムの勤務者一人で担当する職務を、ペアあるいは

チームでジョブシェアリングすることで、一人あたりの就業時間が短縮され、効率的に業務を遂行できるようになります。すでに茨木市、さいたま市、神戸市、東村山市で実績があります。

このようにパーソルグループは、働く個人に向けて、一人ひとりのライフステージに合わせた一生涯の「はたらく」をサポートしていきます。どうぞご期待下さい。

ジョブシェアセンターの設立

■概要

パーソルテンプスタッフ株式会社が手掛ける。

育児や介護などの事情により、はたらき方が限られる方が都心へ通勤することなく職住近接ではたかる施設。

フルタイム勤務者1人で担当する職務(ポスト)を2人以上がペア、またはチームになって分担(ジョブシェアリング)し、1人あたりの就業時間としては短いながらも、効率的にお客様からの業務を遂行。

■これまでの実績

※全国に5拠点

- ・大府市 京都市
- ・埼玉県 さいたま市
- ・兵庫県 神戸市(2拠点)
- ・東京都 東村山市

雇用創造
に向けて

地方企業
に向けて



パーソルテンプスタッフ株式会社
フレキシブルワーク事業推進部
部長 古澤一樹氏

総合人材サービス会社パーソルテンプスタッフの採用コンサルティング営業を経たのち、多様なはたらき方を推進する部門を立ち上げ責任者を務める。新規サービスの企画・運用を推進し、様々な地域共創活動に取り組む。

問合せ先

一般社団法人SDGsデジタル社会推進機構(ODS)

info@ods.or.jp

※お問い合わせの際には「ウェビナー通信を見た」とお伝えください



パーソルテンプスタッフ株式
会社の取り組みを見る

テレワーク・副業・女性活躍の促進支援で
地域に雇用創造を！